

第1号議案 2022～2023年度運動方針補強に関する件

1. 総合労働条件改善闘争の取り組みを推進します

2024年総合労働条件改善闘争は、2年サイクルの取り組みとして位置づけ、賃金・一時金・退職金に加え、「健康・安全」「ジェンダー平等」「働きやすい職場環境」「エイジフリー社会」などの労働協約関連を含む総合的な労働条件の改善に取り組みます。

具体的な闘争方針については、2024年1月の幹事会開催時に第110回中央委員会議案オルグで説明します。また、地区闘争会議を2月と4月に開催し、要求の立案および闘争結果と課題について意見交換を行います。

【補強内容】

電機連合本部方針に沿い、要求段階から加盟組織と連携を深めて参ります。

2. 最低賃金の改善に向けた取り組みを強化します

電機産業の特定最低賃金は、直接雇用の非正規労働者を含む電機産業に働く全ての労働者が、同一価値労働同一賃金の観点や公正競争確保を通じてサプライチェーン全体の健全な成長を促す役割が期待されています。

「産業別最低賃金」（18歳見合い）の水準引き上げならびに年齢別最低賃金等の企業内最低賃金については、2022年闘争においても電機産業労使として社会的責任を果たす必要があるとの認識に至っています。それぞれの最低賃金の連動を一層強めて取り組みを進めます。

法定地域別最低賃金についても、連合との連携をはかって取り組みを進めます。

【補強内容】

この先静岡県産の産業別最低賃金が地域別最低賃金を下回ることが想定されることから、電機連合本部及び連合静岡とより連携を取りながら静岡県特定最低賃金審議会に臨みます。

3. 総合的なセーフティネットの充実に努めます

(1) 「くらしの法律相談」の取り組み

組合員のセーフティネットの一環として、荒巻郁雄弁護士と司法書士「しずおか りぶあらい」と顧問契約を継続し、「くらしの法律相談」を引き続き実施します。顧問弁護士・顧問司法書士の委嘱については、第3号議案で提案します。

(2) 電機連合ハートフルセンターの取り組み

ハートフルセンターは、プロのカウンセラーによる組合員やその家族からの心の相談をはじめ、総合的なメンタルヘルスケアの窓口として広く活用されています。各会議などで加盟組合に対するハートフルセンターの活用PRに努めます。

4. 自主福祉運動の更なる推進に取り組みます

(1) 自主福祉を基本とした電機共済制度の展開

目標設定は未加入者の1.5%（ねんきん共済）、2.0%（けんこう共済）とし、中長期的には組合員の40%加入をめざした取り組みを進めます。目標達成に向け、幹事会でのフォローや「電機共済加入促進担当者会議」を11～12月に開催し、共済推進の方針や制度改善の周知をはかります。

「ねんきん共済」「けんこう共済」「ファミリーサポート共済」そして新入社員向けの「フレッシュャーズプラン」などの制度周知をはかり加入促進を進めます。引き続き、福祉共済センターと連携を取り、(株)マックスの推進役とともに加盟組合への訪問活動やオンラインでの個別提案活動を通じ、各組織の理解を得ながら目標達成をめざします。

【補強内容】

加入者の高齢化が進む中、中長期の制度維持を念頭に電機連合福祉共済センターの対策プロジェクトにて議論しています。職場からの意見を収集し意見反映していきます。

(2) ろうきん・こくみん共済 coop 運動の推進とユニオントラベルとの連携

ろうきん・こくみん共済 coop への派遣役員と連携を密にして、産別として組合員と生活者の安心・安全を保障する自主福祉運動に取り組みます。

ろうきん運動については「書記長会議」、こくみん共済 coop 運動については「電機静岡こくみん共済 coop 運営委員会」を開催し、活動の推進をはかります。

また、ユニオントラベルについては周知・利用促進をはかります。

5. ジェンダー平等の推進およびワーク・ライフ・バランスの実現に向けて取り組みます

電機連合本部の方針をふまえ、ワーク・ライフ・バランスの実現と働き方改革を軸に取り組んでまいります。具体的には、今期20年目（第16期）を迎える男女参画委員会の取組みを中心に、加盟単組における活動の広がりを確認しながら進めます。年2回の委員会では、意見交換や情報共有を積極的に行い、人材育成の観点でもメンバーが主体的に参画することを促します。

また上部団体である連合静岡が方針に掲げる「ジェンダー平等・多様性推進」の視点を意識し、女性組合員の組合活動参画促進につながる取組みの他、連合の中で積極的な意見反映に努めるとともに、電機連合「地協男女平等担当者会議」に参加して他地協との交流をはかりながら活発な活動展開をめざします。

【補強内容】

クリティカル・マスの考え方である女性比率 30%をめざすべく、委員会を通じて各組織における取組み内容を共有し、組織間の相互連携を重視した活動としていきます。

6. 社会貢献活動に取り組みます

加盟組合の協力によるBOXティッシュ販売と冠行事などのボランティア基金活動をもとに、引き続き「カンボジア支援活動」に取り組みます。また、昨年同様に「腎臓バンク推進活動」「盲導犬育成支援活動」「フードバンクふじのくに支援活動」に取り組みます。

カンボジア支援活動については、コロナウイルス感染状況を確認しながらカンボジア井戸掘りボランティアを計画します。また、現地の状況を確認し、支援の方法などについて、改善をはかります。

【補強内容】

地協結成 70 周年記念行事に向けて実行委員会を立ち上げ、今後の社会貢献活動についても議論を重ねます。また、第 11 次カンボジア井戸掘りボランティアを計画します。

7. 政策・制度実現に向けた政治活動の取り組みを推進します

(1) 地方自治体選挙の取り組み

今後予定される地方自治体選挙に向けて立候補する組織内議員・協力議員の当選に向け、準備を進めます。

(2) 議員団活動の推進について

各地区協の幹事会などで組織内議員による活動報告を行います。また地協議員団会議を開催しながら連携を取り、政策制度要求実現に向け取り組みます。

(3) 電機連合静岡政治活動委員会の会員募集を実施します

地協常任幹事会役員と地協直加盟組合の協力を得て、電機連合静岡政治活動委員会の会員募集に取り組みます。

(4) 国民民主党サポーター募集の取り組み

電機連合の政治顧問、電機連合協力国会議員(国民民主党)を支援する取り組みの一環として、電機連合からの要請に応じ、引き続きサポーター登録に協力します。

【補強内容】

先行き不透明な政局が続きますが、第50回衆議院議員総選挙に向けて、電機連合組織内公認候補の「浅野さとし」(日立グループ連合出身・国民民主党：茨城5区)および連合推薦候補の当選に向けて加盟組合の力を結集して取り組みます。



国会で質問する浅野さとし衆議院議員

8. 平和運動への取り組み

連合の平和行動に参加します。具体的な取り組み内容については、電機連合からの参加要請をもとに加盟組合に展開します。

9. 組織拡大の取り組みを強化します

1000万人連合実現プランを踏まえ、地協幹事会などで進捗状況を確認しながら加盟組織と連携して組織拡大を計画的に推進します。

加えて、電機連合一括加盟組織(労連)事務局長等と連携し、加盟組合企業の未組織グループ子会社・関連会社のアプローチを強化して参ります。

また、連合静岡とも連携を強化して、「組織拡大委員会」、「組織拡大プロジェクト」に参加し情報を共有し取り組みを進めます。

10. 中堅・中小労組への支援を強化します

通年のオルグ活動を通じて中堅・中小労組への支援を積極的にサポートしていきます。また、闘争時は地協地区闘会議の開催と巡回オルグを実施して当該労使による決着がはかれるよう支援します。

1 1. 東海ブロックの活動に積極的に参画します

電機連合東海ブロックにおける各種会議ならびに行事へ積極的に参画します。また、ブロック別の本部三役巡回オルグにも対応します。

*東海ブロックとして1地協減となりますが、活動に支障が出ないよう協力していきます。

- | | | |
|-----------------------------|------------|----------|
| (1) 2023年 9月 1日(金) | 最低賃金担当者会議 | (静岡地協設営) |
| (2) 2023年 10月 16日(月)～17日(火) | 事務局長会議 | (三重地協設営) |
| (3) 2023年 11月 6日(月)～7日(火) | フォーラム議員団会議 | (愛知地協設営) |
| (4) 2023年 11月 17日(金) | ユニオンセミナー | (静岡地協設営) |
| (5) 2023年 11月 27日(月) | 共済会議 | (三重地協設営) |

【補強内容】

各組織に有益となるような情報を発信するため、上記項目以外にも積極的な情報収集や情報交換に努めます。

1 2. 地域の労働運動・自主福祉運動の活性化に向けて継続的に取り組みます

連合静岡と連携して政治活動、最賃審議、組織拡大、ジェンダー平等・多様性推進など地域の労働運動に取り組みます。

また、労福協活動および福祉事業団体の運営も含めて役員派遣の要請に積極的に対応し、自主福祉運動の一層の発展をめざした取り組みを進めます。